

ショウジョウバエ類

分類 双翅目 短角亜目 ショウジョウバエ科

学名 Drosophilidae

英名 Fruit-flies
Banana flies



(ショウジョウバエ科の一種)

■解説^{1) 2) 3)}

本類は、果実バエと呼ばれる複眼が赤い、小型のハエである。翅の前縁脈は、2箇所まで切れており、胸背の背中剛毛が2対あるなどの特徴を持つ。幼虫の尾端は1対の後気門が細長く突出している。蛹は前端の前気門が伸びており、1対の角状の突起となっている。通常、卵は糸状突起を持つ。成虫は、樹液、腐果実、キノコ、ごみ溜などの発酵した腐植物質に集まり、これらに産卵する。また、成虫は走光性を持ち、室内の灯火に誘引される。本科には、キイロショウジョウバエ、クロショウジョウバエ、オオショウジョウバエなどが属しており、日本では、240種程度が知られている。

[キイロショウジョウバエ]

■体長

卵 : 長径 0.6 mm程度⁵⁾
老熟幼虫 : 5mm⁵⁾
蛹 : 約 3.5 mm⁵⁾
成虫 : 2.0~2.5 mm^{1) 5)}

■ライフサイクル

卵 : 約 24 時間⁴⁾
1 齢幼虫 : 約 24 時間⁴⁾
2 齢幼虫 : 約 24 時間⁴⁾
3 齢幼虫 : 約 48 時間⁴⁾
蛹 : 約 100 時間⁴⁾
成虫 : 30 日~50 日¹⁾

■産卵数

500 卵以上/♀³⁾

【参考文献】

- 1) 松崎沙和子, 武衛和雄: 都市害虫百科, p236, 朝倉書店(1993)
- 2) 服部哇作, 森谷清樹: 不快害虫とその駆除, p162, 財団法人日本環境衛生センター(1987)
- 3) 安富和男, 梅谷献二: 衛生害虫と衣食住の害虫, p. 310, 全国農村教育協会 (1983)
- 4) 日本家屋害虫学会編: 家屋害虫事典, p. 184, 井上書院(1995)
- 5) 厚生省生活衛生局水道環境部監修: 原色ペストコントロール図説第Ⅲ集, p83-3, (社)日本ペストコントロール協会 (1990)